

事務事業名	複合交流拠点整備事業			担当	総合政策部 プロジェクト推進課 新庁舎周辺整備推進
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～		<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	
施策名	1	子育て支援の充実			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市子ども・子育て支援事業計画			事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成29 年度～ 令和21 年度)	
法令根拠					
予算科目					
予算科目					
予算科目					
事業概要	<p>新庁舎の建設に伴い、新庁舎周辺がまちの「顔」となるように「にぎわいの場」や「魅力の場」となるように、老朽化が進み、耐震性能を有していない第一子育て支援センターや、市立図書館等の公共施設を新庁舎周辺に集約し、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能が相互に連携し、人と人をつなぐ複合交流拠点として、子育て支援センター、屋内型子ども広場、図書館、地域交流センターを備えた複合施設を整備し、子育て支援の充実、生涯学習の推進、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>平成29年度には基礎調査報告をまとめ、平成30年度に新庁舎周辺整備基本構想、令和元年5月に新庁舎周辺整備基本計画を策定し、令和2年度はPFIに類似するDBO方式によって、民間の創意工夫を活かした提案による、施設整備と、令和21年度までの維持管理、運営を行う事業者の募集手続きに着手した。</p>				

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移							
3年度実績 新庁舎周辺整備事業に係る実施方針、要求水準書(案)の公表 新庁舎周辺整備事業に係る募集要項、要求水準書、事業者選定基準等の公表 民間事業者との直接対話(1回目)及び質問回答の実施 民間事業者との直接対話(2回目)及び質問回答の実施 新庁舎周辺整備事業民間事業者選定委員会の開催 4年度計画 真岡市新庁舎周辺整備事業民間事業者選定委員会の開催 特定事業者との契約、事前調査等への着手		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
		ア	新庁舎周辺整備検討委員会の開催		3	3	4		
		イ	新庁舎周辺整備検討部会の開催		3	8	7		
		ウ	民間事業者選定委員会の開催				1		
		エ	市民アンケート・ワークショップの開催		1	1			
		オ	サウンディング調査・事業者対話		1	2	2		
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移							
市民		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
		ア	人口		79414	79324	78874		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移							
子育て支援の充実を図るとともに、合わせて複合拠点として、生涯学習の推進、中心市街地の活性化を図る。		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
		ア	新庁舎周辺整備基礎調査報告書の作成						
		イ	新庁舎周辺整備基本構想の策定		完了				
		ウ	新庁舎周辺整備基本計画の策定			完了			
		エ	事業者募集選定手続き					着手	
		オ							
(2) 総事業費の推移		単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	10,000	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	7,587	1,329	26,918	0	0	
	事業費計 (A)		千円	7,587	11,329	26,918	0	0	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 真岡市総合計画2020-2024と結びついている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公の施設の設置であり、市が行うのが妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 市民を対象とした子育て支援の充実、生涯学習の推進、中心市街地の活性化を図る施設であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 計画し、整備を推進するものである。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名:) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) 類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) PFIに類似するDBO方式を採用することで、民間の創意工夫を活かした提案によって、サービスの向上と事業費の削減を図り、事業を推進する。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								